



# 地域学校運営理事会だより

地域学校運営理事会理事長ご挨拶

理事長 太田 均

通勤で西出雲駅へ向かうと朝の光の中、微笑ましい通学風景が目に残ります。近年、児童数が増え、登校班の人数も十名近くに達し、また登校班の数も増え、整然と一列を成すその姿はまさに壮観です。教職員や地域の皆様の真摯な見守りにより、子どもたちの安全が日々守られていることに改めて深く感謝の念を抱きます。

また下校については、高学年で「自己責任下校」を取り入れているそうです。終礼の遅いクラスを待つ時間を省き、自らの安全を自ら守る、自律心を促す柔軟な指導へのシフトは意義深い取組だと考えます。今後も家庭・学校と密に連携し、地域の皆様と共に、未来を担う子どもたちの健やかな成長を温かく支えてまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。

## 家庭・地域・学校 みんなで育てよう明るい笑顔

～皆さんに支えられながら取り組んだ教育活動～

地域のたくさんの皆さんの温かい思いが、子どもの笑顔を育てています。地域は、子どもたちにとって大事な根っこです。みんなで見守り支えていきましょう。



<見守りボランティアさんとの出会いの会>



<町探検>



<交通安全教室>



<ほかほか交流>



<お話宅配便>



<地域あいさつ運動>



<バースティプロジェクト>



<クラブ活動>



<神門クラブ第2校庭整備>

令和7年度 神戸川小学校 学校評価

○連携と協働、活力に満ちた教職員集団作り

内容・視点	本年度の取組・成果・改善点	学校関係者評価(意見や提言)
① 教職員の業務の効率化、簡略化の工夫による長時間労働の解消は進んだか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出雲市の指定を受け二期制のモデル校として取り組み、さらに授業時数を減らすことで時間的余裕を生み出し、児童がゆとりをもって学習に向かえる環境をつくることができた。保護者からも児童の負担の軽減の高評価ももっている。1時間授業時間を減らした金曜日の職員の退庁時刻が昨年度より早まり、職員にとっても働きやすい学校となった。</li> <li>・登校指導の廃止や学校からの便りのペーパーレス化が進み、効率化や業務改善が進んでいる。働き方改革のアイデアを自由に書き込むフォームを利用することで、さらに業務改善につながるよう、今後も取組を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二期制のモデル実施により、教職員の時間外労働が減少しており、働き方改革は進んでいる。しかし、教職員の持ちこたえの仕事は、あまり変わっていないように感じる。今後の取組に期待している。</li> <li>・二期制は、メリットも感じた。さらに、ブラッシュアップに努めてほしい。</li> <li>・教職員の職場環境や仕事への満足度を意識共有してほしい。将来、「学校の先生」になりたいという子どもを育ててほしい。</li> <li>・AIなども適切に利用を、さらに、働き方改革を進めてほしい。</li> <li>・保護者対応が一番難しいと思う。チームで対応する体制ができていますので、今後も一人に負担をかける心配が必要である。今後も業務の効率化を頑張ってもらいたい。</li> <li>・クラブ活動の地域移行については、一朝一夕には進まないと思うが、引き続き取り組んでいただきたい。</li> </ul>

○全ての子どもを学ぶを支える教育活動の推進

内容・視点	本年度の取組・成果・改善点	学校関係者評価(意見や提言)
② ICTを活用し、発問の仕方や展開、教材、教具を工夫して、分かる授業に取り組んだか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は「授業の中で効果的にICTを活用すること」に主眼を置き、「教師の授業力向上」を主な目的とした。今年度は、自立した学習者の育成を目指す「学習者主体の授業づくり」のツールとしての活用に取り組んだ。主にはCloudを活用し、個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に充実させることをねらいとしている。</li> <li>・子どもたちが「分かりやすい授業」だけではなく、子どもたちが「学びとる力」も育成してきている。次年度も引き続き校内研究を推進し、「子ども」を主題にした授業づくりに取り組んでいけるよう、校内研修の機会を設けたり、教職員も学び合える環境を整備していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一方的に教えるという形から、子どもが自分で疑問や分からないことを調べていく形に変化したことが分かった。今後とも、「子どもを主題にした授業」を頑張ってもらいたい。</li> <li>・児童は、とてつもなく吸収が早いので、可能な限りデジタル学習を進めてほしい。ただ、アナログの良い点も見失わず、実行してほしい。</li> <li>・ICTは今後必要であり、拡大してほしい。ただ、グループワークが苦手にならないように、ICTとの距離感を気を付けてほしい。</li> <li>・子どもがいろいろとチャレンジして学ぶ意欲を育ててほしい。</li> <li>・高学年の学力低下が気になる。学校として、1回1回の授業を大切に、学力の平均点を上げるだけでなく、基礎学力をつけることが必要だと思う。補助教員で対応できないだろうか。</li> <li>・子どもにとって大事なことは、興味をもったらとことん調べるという姿勢で、それを見つけて補助してあげる先生が理想だと思う。家庭学習については、このまま続けてほしい。</li> <li>・学習に対する意欲の向上と共に、PDCAサイクルを回して改善するよい。家庭での学習のアドバイスがあれば、指添えいただきたい。</li> </ul>
③ 家庭学習の習慣定着に向けての指導や学び方の指導ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度の初めに「家庭学習の手引き」を学校から各家庭に配布しており、学級の実態に応じて日々家庭学習を提示し、習慣づけを促進している。</li> <li>・今年度より、一部の学年では「けだま」家庭学習を導入した。漢字練習や自主学習に取り組む際に、学習の「計画(け)」をたて、「実力テスト(し)」し、ミスや困ったところを「自己分析(ぶ)」した後に、「練習(れ)」をするという学習方法である。型を示し、学習の「量」や「質」などは子どもたちが自らに適した学習スタイルを確立させていくという実践である。高学年では、復習だけでなく予習にも積極的に取り組む姿が見られるよう効果を実感している。</li> <li>・今年度は、今年度の実践を継続させるとともに、家庭学習の「質」の向上もねらっていた。</li> <li>・伝える・聞く場面の設定の仕方を一層児童が興味をもって楽しく取り組むことができるよう工夫していく必要性を感じた。「友達の話や話を聞く」と勉強になる「友達と意見交換する」ともって考えてみるなど、「聞き合う」「伝え合う」という学びの目的や価値を、学習の中で子どもたちが主体的に理解していくように指導していく。</li> <li>・「聞きましよう」という指示のもと「聞く」と、「聞いてみたい」と思って「聞く」のは大きな差がある。前者だけでなく、後者の視点をもって指導に当たるように努めたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論するという習慣は、子どもたちが技能として学ばなければならない。「子どもを主題にした授業」をしていただければ、聞き合う力も育つと思う。</li> <li>・児童みんなが、声を響かせてプレゼンできるようにしてほしいと思う。声が小さい子どもが多いので、うまく盛り上げてほしい。これも聞く側に対しての学びになると思う。</li> <li>・ICTとのバランスを組み立て、使わないという選択も入れることで、コミュニケーション力を伸ばしてほしい。</li> <li>・話し方、聞き方を重視し、発問を生み出すタブレット使用をお願いしたい。</li> <li>・今の子どもたちは、動画等には簡単に触れることができるが、読むことと呼びかけや習慣的にさせることによって、身につけることができない。</li> <li>・担任よっての違いが小さくなるように努めてほしい。場の提供をしていただいているので、あとは子どもたちに任せるべきことのように思う。</li> <li>・朝読書が孤立したイベントになりつつある。点ではなく、線になるようにしてほしい。</li> <li>・校内で良いと思われることはすぐにでも実行したら良いと思う。</li> </ul>
④ 聞く力、伝え合う力を育て、仲間とかかわり合いながら学ぶ授業づくりに努めたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の実施体制を見直し、児童が確実に読書に取り組める環境を整えていく必要がある。現在は毎週月曜日を朝読書の日としているが、週の始まりであるために、児童が読みたい本を事前に借りられないケースが見られる。朝読書の曜日の変更も検討していく。また、「朝読書の日に読みたい本を必ず借りておく」というルールを徹底することで、読書時間をより効果的なものにしていく。</li> <li>・貸出冊数やイベント参加率に学級差が大きく見られたことから、担任の働きかけの差が読書活動へ大きく影響していることが明らかになった。今後は、読書量が少ない児童への声かけや図書館利用の機会づくりを学年・学校全体で統一して行い、読書推進体制を強化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童に関する情報交換」の時間を職員会議の中で設けることについては、非常に良いと思う。連絡事項などは、メールなどでもできるが、先生同士の意見交換の場は、時間を割いても設けていただきたい。</li> <li>・友達関係のトラブルは、早期発見、状況把握(アセスメント)、適切な対策を滞りなく実施してほしい。トラブルは扱っておかず、一歩早めの着手により、こじらせずに、子どものトラウマにならないようにお願いをしたい。</li> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>
⑤ 児童が進んで本を読んでいたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝読書の実施体制を見直し、児童が確実に読書に取り組める環境を整えていく必要がある。現在は毎週月曜日を朝読書の日としているが、週の始まりであるために、児童が読みたい本を事前に借りられないケースが見られる。朝読書の曜日の変更も検討していく。また、「朝読書の日に読みたい本を必ず借りておく」というルールを徹底することで、読書時間をより効果的なものにしていく。</li> <li>・貸出冊数やイベント参加率に学級差が大きく見られたことから、担任の働きかけの差が読書活動へ大きく影響していることが明らかになった。今後は、読書量が少ない児童への声かけや図書館利用の機会づくりを学年・学校全体で統一して行い、読書推進体制を強化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童に関する情報交換」の時間を職員会議の中で設けることについては、非常に良いと思う。連絡事項などは、メールなどでもできるが、先生同士の意見交換の場は、時間を割いても設けていただきたい。</li> <li>・友達関係のトラブルは、早期発見、状況把握(アセスメント)、適切な対策を滞りなく実施してほしい。トラブルは扱っておかず、一歩早めの着手により、こじらせずに、子どものトラウマにならないようにお願いをしたい。</li> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>

○人権意識を高め、豊かな繋がりを生み出す生徒指導の推進

○健康、安全でたくましい体を育む教育活動の推進

内容・視点	本年度の取組・成果・改善点	学校関係者評価(意見や提言)
⑥ あいさつや返事、言葉遣いなど日常生活の指導は適切であったか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権委員会を通して言葉遣いに関する指導や呼び方に関する指導を行った。</li> <li>・生活委員会によるあいさつ運動を年間を通して実施した。狂の放送で「今日のあいさつ名人」を発表することで、児童も意欲的にあいさつをしていた。一方で校外でのあいさつには課題も残っていることで、地域の方へのあいさつについて積極的に指導を行っていく。</li> <li>・月に全校で共通の「今月の生活目標」を示し、日常生活の改善していきたい項目について、児童に意識できるように指導を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいさつは大事だと思う。昨今の情勢から危険なケースがあり、指導する側は大変だと思う。不審者のこともあるので、「誰でもあいさつをしてくだささい」とは言わないが、交通安全運動や青少年育成協議会の見守りで、専用のジャンパーを着ているので、「おはよう」と言ったら、元気に「おはよう」と返事をしてもらいたい。返事がある子どもが少なく、特に女の子は黙っていることが多い。</li> <li>・「児童に関する情報交換」の時間を職員会議の中で設けることについては、非常に良いと思う。連絡事項などは、メールなどでもできるが、先生同士の意見交換の場は、時間を割いても設けていただきたい。</li> <li>・友達関係のトラブルは、早期発見、状況把握(アセスメント)、適切な対策を滞りなく実施してほしい。トラブルは扱っておかず、一歩早めの着手により、こじらせずに、子どものトラウマにならないようにお願いをしたい。</li> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>
⑦ 認め合い励まし合える集団作りができていたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体として、隔週で「だんだんタイム」の時間を設けて実施した。学級の雰囲気づくりにとっても効果的であったといえる。</li> <li>・定期的なアンケートや教育相談を行い、集団における児童一人ひとりの気持ちに配慮しながら学級経営を行うことができた。</li> <li>・「児童に関する情報交換」の時間を会議内に設けて、全校で共通理解を図った。しかし、共通理解が充分とはいえない部分もあるので、情報を共有しやすい仕組み作りに取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童に関する情報交換」の時間を職員会議の中で設けることについては、非常に良いと思う。連絡事項などは、メールなどでもできるが、先生同士の意見交換の場は、時間を割いても設けていただきたい。</li> <li>・友達関係のトラブルは、早期発見、状況把握(アセスメント)、適切な対策を滞りなく実施してほしい。トラブルは扱っておかず、一歩早めの着手により、こじらせずに、子どものトラウマにならないようにお願いをしたい。</li> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>
⑧ 基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん・メディアとの共生)や体力づくりは定着できたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に朝の会を実施。毎行っている生活習慣を見直す活動。メディアの使用時間については課題があるものの、この期間はしっかり意識して取り組んでいる児童も多い。項目の精査も含めて改善しながら来年度も実施を続ける。</li> <li>・メディアに関する指導及び情報発信。各クラスでメディアの使い方リレーションに取り適宜指導を行っている。また、学校全体として保健だより等を活用して家庭と協力して取り組めるように情報発信をしている。</li> <li>・健康教育の実践。今年度、運動習慣の改善と運動能力の向上を狙って、全校で健康教育の実践にあたった。朝の会で運動を取り入れた等の工夫もあり、運動習慣が確立できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>
⑨ 交通ルールやマナーを守って安全に登下校などができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯教室や交通安全教室の実施(各学年1回)。</li> <li>・登校時は地域の見守り隊の方々の協力をいただき、安全に登校できている。今後も引き続き指導と見守りを地域と協力して行っていく。</li> <li>・5・6年生の自由下校実施。学校周辺に狭い道が多いことから、一斉に児童が下校すると混雑して危険な状況があった。そのため、5・6年生の下校班を編成せず下校するスタイルに変更した。結果として、混雑の解消に一定の効果があったといえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期なので、「食」への情報発信・指導は、親子共に推進してほしい。</li> <li>・メディアを完全になくすことは不可能である。禁止するのではなく、少し減らす程度に考え、メディアの代わりを何に置き換えるかを考えたりすることが重要である。</li> <li>・1年生から子どもにスマホを与えている保護者がいると聞いた。子どものスマホ利用は、情報発信手段や言うよりゲーム使用、動画視聴の目的が多い。このことにより、宿題ができない、早起きできない、朝食をとれない等、様々なことに影響が生じると思われる。朝習サポーターや保護者の方でゲームや動画の使用停止できないものか。</li> <li>・時々、不審者情報や子どもたちが交通事故に巻き込まれるニュースを聞く。防犯教室や交通安全教室は、繰り返し実施してほしい。</li> <li>・保護者の立場でのマナー指導が必要である。下校指導等、PTAからの発信があるとよい。登下校指導は、優先順位がわがっていると感じる。</li> <li>・家庭の指導力を高めたい。学校は、教職員が一枚岩になって指導をしてもらいたい。</li> </ul>

○地域の多様な教育資源を生かした地域・保護者連携の強化

内容・視点	本年度の取組・成果・改善点	学校関係者評価(意見や提言)
⑩ ふるさとの豊かな「ひとものこと」を生かした活動ができたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間や社会科では地域にある豊かな「ひとものこと」を生かした授業を行うことができた。今年度の振り返りを行い、改善を進めることでよりよい活動につなげているようにする。</li> <li>・プールの監視と保護者の方や地域の方に協力していただいたおかげで、安全に学習に取り組むことができた。</li> <li>・慶人会との連携を次年度は少しずつ進めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に通う児童は、この地域に住んでおり、何らかの形でふるさどを感じていると思う。ことさらに強調する必要はないと思う。地域の会社見学等をこのまま進めていってほしい。</li> <li>・プール監視は、事故の責任を感じ、やらない人がいるのではないかと。実際、監視に入ったとき、水泳の泳ぎが落ちていた児童がよくなった。いろいろな人に、子どもの様子を見てほしい。</li> <li>・地域との触れ合いがあまりない。地域とPTAのタイアップで企画できるよ。</li> <li>・授業公開には、多くの保護者の姿が見られるが、学校保護委員会や人権・同和教育の講演会への保護者の参加が少ない。せっかくの良い研修の機会でもあるので、保護者の参加を促す工夫をしていただきたい。</li> <li>・PTAからの研修の企画や発信により、保護者の感じ方も変わると思う。PTA会長名でのメール発信は良かったので、引き続き取組を進めてもらいたい。</li> <li>・文書配布よりメール配信の方が効果が高い。メール配信の方がありがたいという声がある。</li> </ul>
⑪ 学校運営理事会やPTA等に教育活動の情報を発信したか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和議事があったら、地域学校運営理事やPTA役員に相談して進めることができた。大変心強い応援だった。</li> <li>・学校より、学年・学校だよりを定期的に発行し、情報発信に努めた。学校のブログを頻りに更新し、学校の様子を伝えることができた。しかし、ホームページの更新に手が回らなかった面があったので、来年度は改善していきたい。</li> <li>・文書配布をメールで行うことで効果が出て、保護者に確実に情報が伝わるようになってきた。</li> <li>・学習発表会や公開日には多くの保護者の方に来ていただいた。特に学習発表会では、各学年で発表形態を工夫し、今までの学習の様子をまとめ、発信することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に通う児童は、この地域に住んでおり、何らかの形でふるさどを感じていると思う。ことさらに強調する必要はないと思う。地域の会社見学等をこのまま進めていってほしい。</li> <li>・プール監視は、事故の責任を感じ、やらない人がいるのではないかと。実際、監視に入ったとき、水泳の泳ぎが落ちていた児童がよくなった。いろいろな人に、子どもの様子を見てほしい。</li> <li>・地域との触れ合いがあまりない。地域とPTAのタイアップで企画できるよ。</li> <li>・授業公開には、多くの保護者の姿が見られるが、学校保護委員会や人権・同和教育の講演会への保護者の参加が少ない。せっかくの良い研修の機会でもあるので、保護者の参加を促す工夫をしていただきたい。</li> <li>・PTAからの研修の企画や発信により、保護者の感じ方も変わると思う。PTA会長名でのメール発信は良かったので、引き続き取組を進めてもらいたい。</li> <li>・文書配布よりメール配信の方が効果が高い。メール配信の方がありがたいという声がある。</li> </ul>
⑫ 保幼小連携や小中連携教育を推進し児童の健全育成に努めたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の授業を幼稚園や保育園の先生に見てもらったり、情報交換を行ったことが、その後の指導に活かす良い機会となったので今後も続けていきたい。</li> <li>・保幼小交流会では、保・幼の職員と連携して交流を行ったことで、1年生児童は年長者としての自覚をもつことができた。</li> <li>・5年生のほかほか交流では、子ども達が意欲的に活動に取り組んでいた。また、ここで交流が就学時健診の際の園児との交流に活かされていた。</li> <li>・中学校の出前授業、また学校紹介は児童が中学校への見通しをもつことができる大切な機会となった。</li> <li>・授業研究会に中学校の先生や幼稚園保育園の先生方に参加していただき、連携が深まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に通う児童は、この地域に住んでおり、何らかの形でふるさどを感じていると思う。ことさらに強調する必要はないと思う。地域の会社見学等をこのまま進めていってほしい。</li> <li>・プール監視は、事故の責任を感じ、やらない人がいるのではないかと。実際、監視に入ったとき、水泳の泳ぎが落ちていた児童がよくなった。いろいろな人に、子どもの様子を見てほしい。</li> <li>・地域との触れ合いがあまりない。地域とPTAのタイアップで企画できるよ。</li> <li>・授業公開には、多くの保護者の姿が見られるが、学校保護委員会や人権・同和教育の講演会への保護者の参加が少ない。せっかくの良い研修の機会でもあるので、保護者の参加を促す工夫をしていただきたい。</li> <li>・PTAからの研修の企画や発信により、保護者の感じ方も変わると思う。PTA会長名でのメール発信は良かったので、引き続き取組を進めてもらいたい。</li> <li>・文書配布よりメール配信の方が効果が高い。メール配信の方がありがたいという声がある。</li> <li>・幼稚園の先生は、1年生の授業での子どもの成長した姿を見て、さらに自分たちも頑張ろうという気持ちになるそうだ。是非、今後も続けていただきたい。</li> <li>・とてもいい試み、よい取組なので、このまま継続してもらいたい。</li> <li>・神戸川小学校は、卒業後、河南中と二中に分かれるので、不安にならない対策をお願いしたい。</li> </ul>

# 令和7年度 神戸川小学校地域学校運営理事会の活動

## □ 理事会メンバー

(敬称略)

## □ 専門部

(◎…部長)

No.	氏名	役職
理事長	太田 均	古志地区自治協会会長
副理事長	木代 伸治	神門地区自治協会会長
理事	増田 健吉	古志コミュニティセンター長
理事	梶谷 幸生	神門コミュニティセンター長
理事	板垣 孝治	古志地区青少年育成協議会長
理事	山田 裕之	神門地区青少年育成協議会長
理事	土江 孝夫	古志地区交通安全委員会会長
理事	藤原 朝雄	神門地区交通安全対策協議会長
理事	三谷裕美子	古志地区主任児童委員
理事	布野 和弘	神門地区主任児童委員
理事	浜村 明宏	神戸川興学会長
理事	山下 明博	神戸川小学校PTA会長
理事	中尾 光伸	神戸川小学校PTA副会長
理事	尾崎 賢志	神戸川小学校PTA副会長
理事	樋野 育司	神戸川小学校長

事務局	馬庭 利幸	神戸川小学校教頭
	勝部 恵美	神戸川小学校主幹教諭
	神田幸一郎	神戸川小学校主任

部名	活動目的	部員名
教育活動支援部会	学校が行う様々な学習にかかわる活動を支援する。(ボランティアスタッフなどの紹介や体験活動のコーディネート)	◎梶谷 板垣 布野 三谷 中尾 樋野
元気な地域づくり・学校・明会い	地域と学校、家庭が一体となって取り組む様々な活動を支援する。	◎増田 木代 藤原 土江 尾崎 勝部
地域・学校・家庭連携推進部会	理事会や各部会の活動を使いなどを通じて地域に情報を提供したり啓発活動をしたりする。(地域行事への学校・児童の積極的な参加を推進する)	◎山下 太田 浜村 山田 馬庭 神田

## □ 理事会の主な議題

### 第1回 7月1日(火)

- ・会則の確認
- ・理事長・副理事長の選出
- ・学校経営について
- ・年間行事について
- ・学校いじめ防止基本方針について
- ・学校配当予算について

### 第2回 12月9日(火)

- ・教育活動の様子について
- ・中間学校評価と改善策について
- ・年度末学校評価について
- ・学力調査結果について
- ・児童の様子について

### 第3回 2月10日(火)

- ・教育活動の様子について
- ・児童の様子について
- ・学校関係者評価について
- ・次年度学校体制について

## □ その他の活動

### ○学校行事への参加

- ☆児童の様子を見ていただく機会の設定
  - ・理事会前に授業見学、学年・学級発表会を実施
  - ・講演会への参加
  - ・教育活動の様子が伝わりやすいよう映像を活用
  - ・体育会への参加
  - ・入学式、卒業式への参加

### ○その他、各理事の立場(所属団体等)から

- ・通学路の安全確保・見守り
- ・地域での健全育成活動

## 神戸川小学校地域学校運営理事会

【事務局】〒693-0032 出雲市下古志町808  
出雲市立神戸川小学校  
TEL 21-1126 FAX 21-8956